

RBがん抑制遺伝子の代謝制御機構

Regulation of metabolism by RB tumor suppressor

高橋 智聡 先生

金沢大学がん進展制御研究所
腫瘍分子生物学研究分野 教授



日時

平成30年2月1日 (木)

17:30~19:00

場所

外来診療棟 4階 A講義室

細胞を構成する代謝物の合成と細胞周期はきちりと同期しています。RBは、一義的には、細胞周期情報をE2Fをはじめとする転写因子群の活性変化やクロマチン構造・修飾の変化へと変換するアダプタ蛋白質です。このRBの標的遺伝子群が代謝制御に関わるとすると、代謝と細胞周期の関係をうまく説明することができます。事実、この10年あまりの間、RBの代謝制御機能とその分子機構は急速に解明されつつあります。

高橋先生らは、RBが野生型Rasの活性を制御する機構の探索においてRBとコレステロール・脂質代謝の関係に気づき、これを皮切りに、RBと脂肪酸酸化、RBと糖代謝の関係を見出しました。

本セミナーでは、代謝制御におけるRBの働きを俯瞰し、その生物学的意義を論じられる予定です。

どなたでも多くの方々のご聴講を歓迎致します。

【担当】 分子細胞生物学分野 教授 鈴木 聡 (内線: 6052)

【主催】 シグナル伝達医学研究展開センター

【連絡先】 研究支援課研究企画係 (内線 5195)

E-mail: k9shien@med.kobe-u.ac.jp